

平成21年度（第43回）軍事史学会年次大会

陽春の候、軍事史学会会員の皆様におかれましては、益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。
さて、今年度の年次大会は、姫路獨協大学の協力を得て「城塞をめぐる軍事史」を共通テーマに開催します。姫路市には平成5年に日本で初めて世界文化遺産に登録された「姫路城」があり、城塞に関する軍事的な諸相を幅広く捉えることを試みる今大会に相応しい開催地といえます。また、姫路城は平成21年秋から5年の歳月をかけて「姫路城大天守保存修理事業」が行われます。大会では、第2日目に姫路城の見学を計画しております。ご多忙中とは存じますが、奮ってご参加下さるようご案内申し上げます。

【日 程】 6月6日（土）～7日（日）

【場 所】 姫路獨協大学及び姫路市周辺史跡

〒670—8524 兵庫県姫路市上大野7丁目2番1号 TEL 079 (223) 2211 (代)

姫路獨協大学ホームページURL <http://www.himeji-du.ac.jp/>

【共通論題】 「城塞をめぐる軍事史」

【全般日程】

≪第1日目 総会及び特別講演・個人研究発表≫ 姫路獨協大学 講義棟4階

11:00～ 受付（401D教室前）

11:30～12:30 総会及び阿南・高橋学術研究奨励賞授与式（401D教室）

12:30～13:30 昼食・休憩

13:30～13:40 開催校挨拶（401D教室）

姫路獨協大学学長 大塚 健洋 教授

13:40～14:40 特別講演（401D教室）

講師 藤原 龍雄 氏（播磨学研究所事務局長）

演題 「姫路城開城—譜代姫路藩の明治維新—」

15:00～17:10 個人研究発表（402B、403B、407B、408B各教室）

18:30～20:30 懇親会：イーグレひめじ「レストラン ミレ」

〒670—0012 兵庫県姫路市本町68番290 イーグレひめじ4F（大手前公園南側）

※ 懇親会会場への移動は、姫路獨協大学前から路線バスの利用となります。また、懇親会終了後は姫路キャッスルホテルの宿泊者に限り送迎バスが出ます（詳しくは当日案内）。

≪第2日目 史跡研修≫

8:30～16:00 姫路城及び周辺史跡研修

8:10 受付：姫路キャッスルホテル玄関前

8:30 ホテル発（8:40JR姫路駅南口経由）

9:00 姫路城～市立美術館（講話※）～酒蔵・屋敷（灘菊）～手柄山周辺（空爆死没者慰霊塔、平和資料館）～増位山随願寺周辺（本堂、榊原忠次・政邦の墓所他）

※ 美術館での講話は、姫路獨協大学副学長中元孝迪氏による「姫路城物語—美の秘密」を予定。

15:50 JR姫路駅南口着・解散（希望者は姫路キャッスルホテル前で解散）

※ 史跡等の概要は「史跡の紹介」を参照のこと。なお、研修内容等は変更する場合があります。

【個人研究発表の細部】

部会①「共通論題：城塞の役割と戦略」（402B教室）司会：相澤 淳（防衛研究所）

15:00～15:40 「竹ヶ鼻城攻防戦をめぐる豊臣秀吉の戦略と輪中—既存資料の再吟味から—」

水谷 英志（会 員）

15:45～16:25 「幕末の江戸湾海防と台場」

浅川 道夫（拓殖大学）

16:30～17:10 「明治期における大阪湾防衛—要塞砲台を中心に—」

原 剛（元防衛研究所）

部会②「共通論題：城塞をめぐる戦術」（403B教室）司会：太田 弘毅（元東北女子大学）

15:00～15:40 「広狭二義の『一ノ谷』地名—『平家物語』と鶴越—」

田辺 真人（園田学園大学）

15:45～16:25 「陣城からみた賤ヶ岳合戦 —縄張り構造の分析を中心として—」

中井 均（城館史料学会）

16:30～17:10 「天守の防衛」

高田 徹（城館史料学会）

部会③「自由論題：日本赤十字社の人道援助活動」（407B教室）司会：黒沢 文貴（東京女子大学）

15:00～15:40 「日本赤十字社の設立と発達」

小菅 信子（山梨学院大学）

15:45～16:25 「明治期における日赤の戦時救護活動」

喜多 義人（日本大学）

16:30～17:10 「明治大正期における日本赤十字社の平時事業」

河合 利修（日本赤十字豊田看護大学）

部会④「自由論題：近代日本の政治と軍事」（408B教室）司会：柴田 紳一（国学院大学）

15:00～15:40 「パリ平和会議全権牧野伸顕・首相原敬の戦争・軍事観」（仮）

高杉 洋平（国学院大学）

15:45～16:25 「石原莞爾と里見岸雄」（仮）

金子 宗徳（里見日本文化学研究所）

16:30～17:10 「皇族・華族と軍事」（仮）

浅見 雅男（文藝春秋）

【参加費】

大会参加費 2,000円 懇親会参加費 5,500円 史跡研修参加費 5,000円

【申込み要領】

申込みには「参加費の振込」と「参加登録」が必要です。下記の要領に従って確実な手続きをお願いします。また、史跡研修を希望する場合と第1日目のみ参加の場合では締切り日（振込期限）が異なりますのでご注意ください。

＜「参加費の振込」要領＞

- 以下の参加区分に従って下記口座へお振込み下さい。振込み手数料は各人の負担となります。

参加区分	参加費	締切り日
A 大会のみ参加（第1日目のみ参加）	2,000円	5月27日（水）
B 大会及び懇親会参加（懇親会のみを含む）	7,500円	
C 大会及び史跡研修参加（史跡研修のみを含む）	7,000円	5月20日（水）
D 大会、懇親会及び史跡研修参加	12,500円	

振込先：三井住友銀行（銀行コード0009） 恵比寿支店（店番号656）

口座番号 普通預金 7026717 口座人名義 軍事史学会大会委員会

- 締切り日を過ぎた振込みの参加申込みは無効となりますので、期限を厳守して下さい。
- 締切り日を過ぎた振込み、振込み後のキャンセル、振込みの額の間違い等による返金には、事務手続

き上、応じられませんので、あらかじめご了承ください。

- ・ 上記口座は年次大会専用の決済口座となっております。年会費の振込みはできません。
- ・ 大会当日の入場の際、振込み済みを確認するものがが必要です。振込み領収証等を受付で必ずご提示下さい。なお、振込みが確認できない場合には、参加費を当日お支払いいただく場合もあります。
- ・ はがき、FAX等による申込みは出来ませんので、ご注意ください。

<「参加登録」要領>

- ・ 「参加登録」は軍事史学会ホームページ（URL：<http://www.mhsj.org/>）から、案内に従って登録して下さい。
- ・ インターネットを利用されない場合には、別紙様式第1（6頁）に所要事項をご記入の上、郵送またはFAXで「大会に関する問合せ先」（下記）へお送り下さい。
- ・ 「参加登録」は参加状況の事前把握及び参加者名簿の作成のために使用します。本登録をもって参加申込みとはなりませんので、ご注意ください。「参加費の振込」を確実に行って下さい。
- ・ 本登録のうち氏名及び所属については、参加者名簿に記載し当日配布する予定です。名簿への記載に異議の方は、必ず別紙様式第1「参加登録」の「参加者名簿への記載」にご記入下さい。

【宿泊案内】

「姫路キャッスルホテル」では、軍事史学会会員用に特別料金で宿泊を提供します。希望する会員は、下記の宿泊条件に限り別紙様式第2（6頁）に所要事項をご記入の上、FAXで申込み下さい。その他、連泊等追加条件がある場合には、ホテルへ直接お問い合わせ下さい（ホテルの窓口は、副支配人高澤氏です）。その際、「軍事史学会会員」と伝えて下さい。なお、予定数に達し次第締め切りとなりますので、早めにお申し込み下さい。

○ 宿泊条件：1泊朝食付きシングルルーム 6,800円（税・サービス込み）

* キャンセルの場合、所定の取消し料が発生する場合があります。

○ お申し込み先：〒670-0940 姫路市三左衛門堀西の町210番地 姫路キャッスルホテル

FAX：079-284-3729 TEL：079-284-3311（代）

* JR姫路駅新幹線側南口よりホテル専用バス（30分毎、無料）で約2分、徒歩で7分です。

詳しくはホームページ <http://www.himejicastlehotel.co.jp/> をご覧下さい。

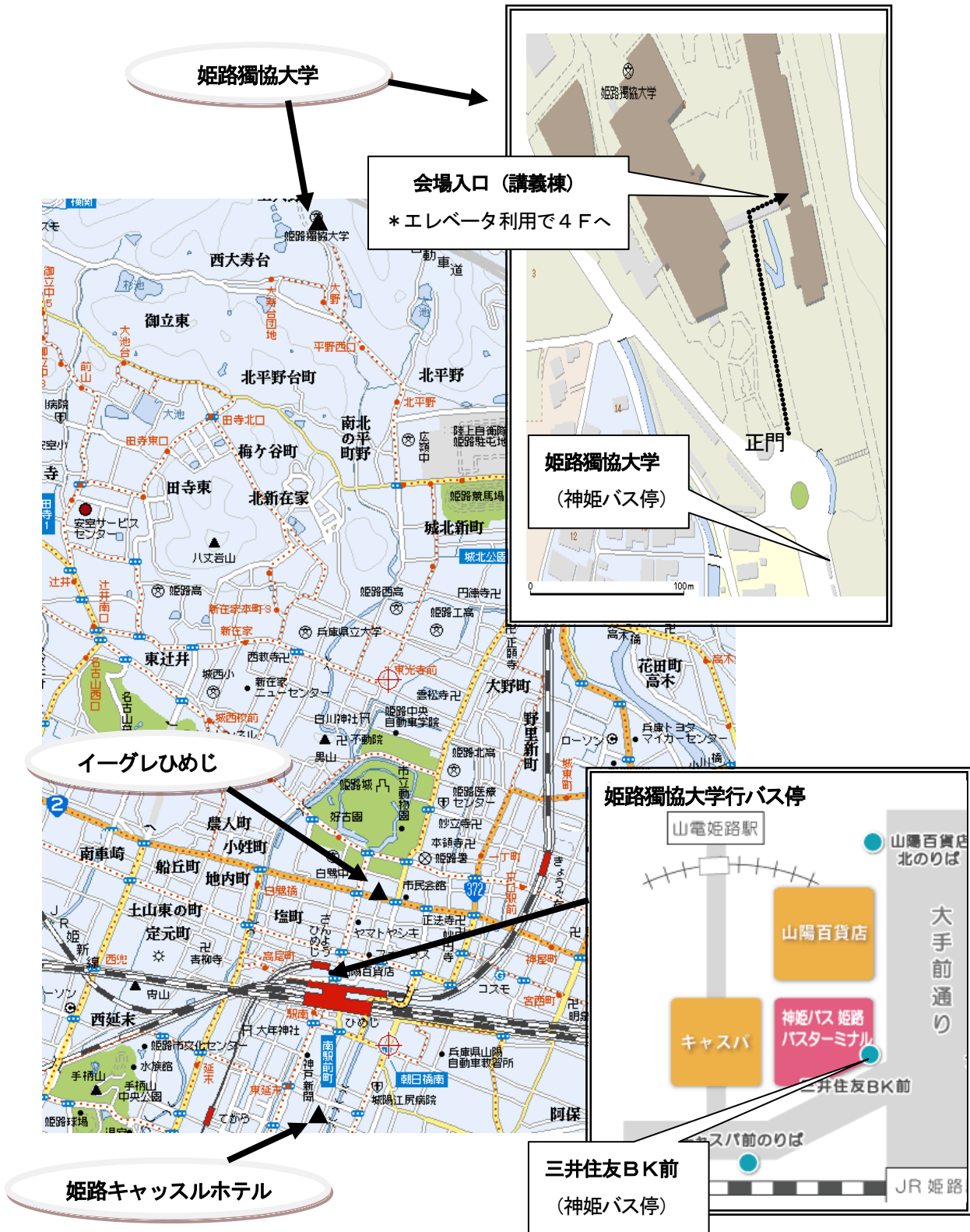
【大会に関する問合せ先】 〒162-0041 東京都新宿区早稲田鶴巻町544-6 錦正社内

軍事史学会 大会委員会 TEL:03-5261-2891 FAX:03-5261-2892

E-mail: convention@mhsj.org 軍事史学会ホームページ: <http://www.mhsj.org>

【アクセス】 JR新幹線・山陽電鉄利用

- ・ バス（神姫バス）：姫路駅北口（三井住友BK前）から、「姫路獨協大学行」又は「姫路獨協大学經由大寿台行」に乗車、「姫路獨協大学」で下車、時間約20分、運賃250円
バス時刻（土曜） 8時～17時の間 25分及び55分の2本
- ・ タクシー：姫路駅北口乗場から約15分、運賃2,000円強



史跡の紹介

（姫路城）

慶長年間の築城された日本に現存する屈指の名城。昭和6（1931）年に国宝に指定され、平成5（1993）年には日本で初めてユネスコの世界文化遺産に登録されました。来年度から5年計画による大修理が計画されており、この期間中は、白鷺城と称えられる姫路城の全容を見ることができなくなります。

（講話）

姫路城公園内にある姫路市立美術館（講堂）において、姫路獨協大学副学長中元孝迪先生による講演を行います。中元先生は姫路城の研究に関する第一人者であり、今回の演題は「姫路城物語—美の秘密—」（仮）であります。

（酒蔵見学・昼食・休憩）

明治43（1910）年創業の酒蔵で、全国でも珍しい女性杜氏が誕生した「灘菊」の酒蔵を見学します。また、酒蔵にあるレストランにて、姫路城主羽柴秀吉が備中高松城から姫路城までを二日間で走破し、天下取りへの足掛かりとなった「中国大返し」の故事にならった酒蔵の膳「大返しめし」を食し、戦国武将の武運にあやかります。

（手柄山周辺）

姫路市は全国戦災都市連盟発祥地（当時の石見元秀市長が同連盟会長兼務）であったことから、昭和36（1961）年に恒久平和を願い、手柄山山頂に建立された「太平洋戦全国戦災都市空爆死没者慰霊塔」に参拝し、太平洋戦争時の貴重な写真類などを展示した「姫路市平和資料館」を見学します。

（増位山随願寺）

増位山は播磨六山の一つであり、随願時は奈良時代に始まった姫路市内最古の寺と伝えられ、書写山圓教寺と併称される名刹です。阿弥陀如来を本尊とする深山に佇む本堂と、亀趺にのる墓碑の長文を読破したら「カメ」が動くとの伝説がある姫路城第十一代城主・榊原忠次の霊廟と、その子榊原政邦夫婦の墓所に参拝します。

参加登録 (FAX・郵送) 平成21年 月 日

フリ 氏	がな 名				
所	属				
参加区分	A	B	C	D	(該当に○印)
個人研究発表	部会①	部会②	部会③	部会④	(該当に○印) ※複数可
参加者名簿 への記載※	同意	不同意	氏名のみ同意		(該当に○印)
通信欄	(住所が変更になった会員及び非会員の方は、連絡先をご記入下さい) 〒 — TEL : ()				

※ 参加者名簿へは氏名及び所属を記載します。

..... キ リ ト リ

(様式第2)

FAX 079-284-3729

姫路キャッスルホテル 副支配人(高澤)宛

第43回軍事史学会年次大会 宿泊申込書 (FAX) お申込日 月 日

ご宿泊日	平成21年6月6日(土) 1泊			
部屋	シングル	喫煙の有無	<input type="checkbox"/> 禁煙	<input type="checkbox"/> 喫煙
ご氏名	カタカナ			性別 <input type="checkbox"/> 男 <input type="checkbox"/> 女
	漢字			
ご住所	〒 —			
ご連絡先	(電話 or 携帯電話) — —			
通信欄				